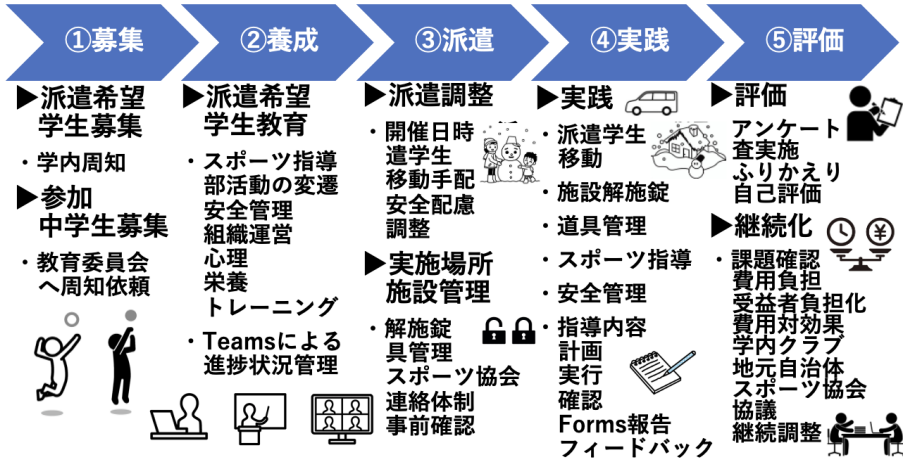
「令和8年度 大学スポーツ総合支援事業」企画提案書（事業概要資料）

②大学生指導員の養成・確保に関する実証事業［指導者派遣型］

大学名	北翔大学

実施計画名	北翔大学のスポーツにおける豊富な専門的知見を活かした学生指導者養成および積雪寒冷地域における冬季に向けての指導者派遣体制の整備
事業概要	部活動の地域移行・地域展開における喫緊の課題である指導者不足の解消、また学生指導者の派遣にかかる、学内教員や学生、自治体やスポーツ協会などと調整する仕組みや組織を構築し体制を整える 生涯スポーツ学部が有する豊富な人的・知的資源を活かし、学生指導者の養成および学内スポーツクラブにおける運営ノウハウを活かした、学生指導者派遣体制を整備する。とくに積雪寒冷地域における冬季でも安全な学生指導者の派遣体制を検証する。

■大学生指導員の養成・確保に当たっての仕組みやフロー



■主な参加者・想定人数

区分	内容	人数
研修受講者（学内）	北翔大学体育会所属各部	16名
研修受講者（学外）	近隣大学（札幌学院大・酪農学園大） 学生希望者	4名
指導対象者	江別市内中学生	50名
自治体関係者	江別市教育委員会	3名
協力団体関係者	江別市スポーツ協会	2名

■実証事業の検証・評価方法

実証事業の評価・検証にあたり必要な項目・基準
▶参加者と保護者、学生、教員、自治体関係者の事業実施に伴う満足や意欲（実施前後の調査により比較検証）冬季移動安全性の費用対効果

▶定量的には学生指導者養成数や派遣数
4種目×4名＝16名養成目標　4種目×８回派遣

▶定性的にはアンケート調査で総合的に事業評価を行う

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと）

